

にちようさはんじ Vol.21

「叱る」を考える

叱る意義と教育意義

・子供が社会の中で生活していく上で、望ましくないことは行わないことを教えること（小林,1999）

・教育的意義として

- ①危険な行為または不正・不道徳な行為を抑制
- ②望ましい行動に変えることを促進
- ③最も相応しい行動が何であったかを考えさせる
（渇上,1999）

叱る効果

- 学習理論でいうオペラント条件付けによる学習方略に基づいているから (丹羽,2012)
- オペラント条件付けは、ある行動の結果によって、その行動の生起頻度に変容される過程 (Reynoldsd,1975)

やめてもらいたいので叱る = 正の弱化

どう叱れば効率的か

- 好かれない他者から叱責された場合（薊,2010）
- やめてほしい行動を直接指摘する（竹内,1995）
- 親子関係では、望ましくない行為の抑止と指摘（遠藤ら,1991）
- なぜいけないかを説明するような叱責は反発が弱い（松田ら,2003）

相手との関係性と、言葉の使い方が重要

やる気になる言葉 例

- 上手くなった
- まだまだのびる
- 強くなってほしい
- こういう練習したらもっと強くなれる
- くやしいなら勝て

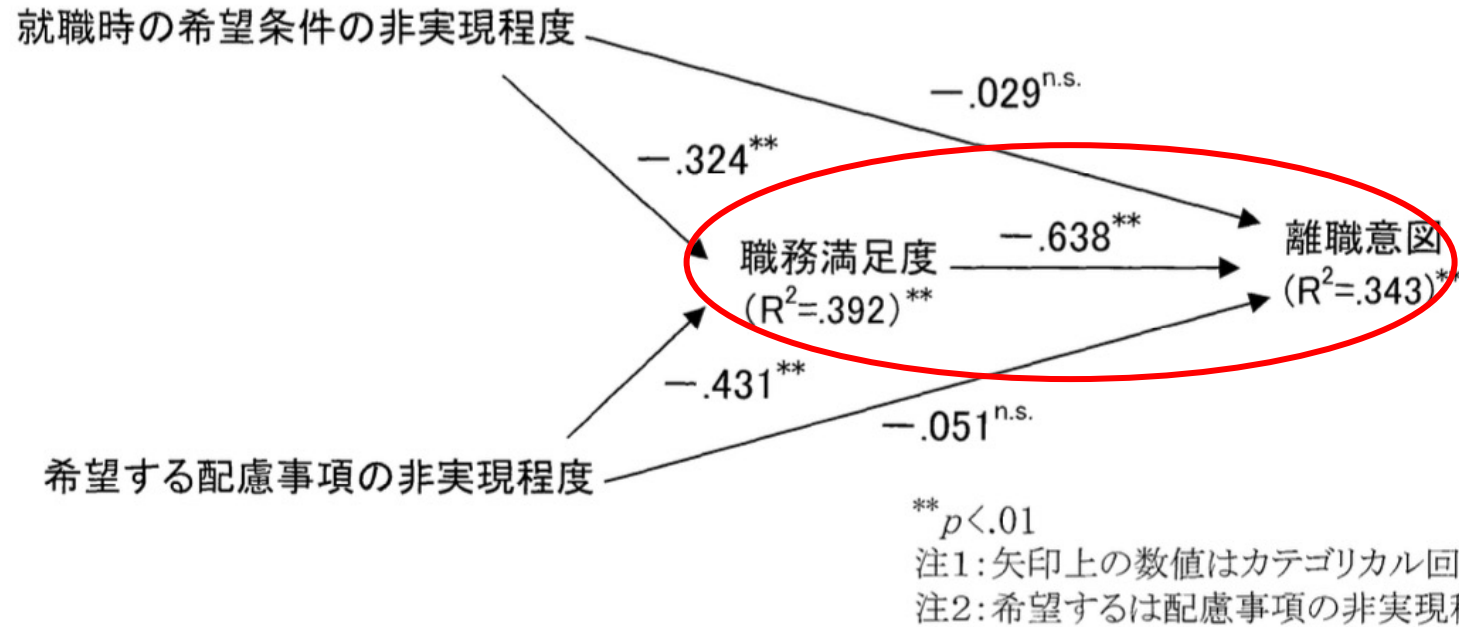
(矢澤,2017)

やる気をなくした言葉 例

- 向いてない
- あほ
- そんなこともできないのか
- だからお前はダメなんだ
- 情けない

(矢澤,2017)

障害者活躍の領域での「叱咤」



- 「教育」と「職務遂行サポート」は職務満足度を高める
- 「叱咤」はあんま関係ない

(若林, 2016)